

学校運営協議会(全日制)部会 議事録

校名	大阪府立布施高等学校
(准)校長名	村田 知子

開催日時	令和6年12月2日(月)15:30～17:00
開催場所	本校校長室
出席者(委員)	久会長、根井委員、大林委員、花崎委員、緒方委員
出席者(学校)	村田校長、田中教頭、石田事務部長、西村、山下、平田
傍聴者	坂井さま(河合塾)
協議資料	令和6年度学校経営計画、令和6年度1学期授業アンケート結果
備考	

議題等(次第順)

1. 学校長挨拶
2. 会長挨拶
3. 報告(①学校説明会 ②学年より生徒状況報告)
学校説明会については別紙資料により校外での参加状況と校内での参加状況等の報告を行った。
生徒状況の報告は各学年の主任より学年の活動や進路希望等の報告があった。
4. 協議(①授業アンケートの結果より ②令和6年度学校経営計画について)
5. 事務連絡

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- ・令和6年度学校経営計画について
→承認していただいた。
- ・協議事項
 - ①授業アンケートで、教材活用の項目が数値が下がっていることは課題の多さに関連しているか
→これまでと課題の量は変わっていない。生徒は、テスト前に他教科と重なることもあり、(課題の量が)多いと感じている。調整して負担は減らすようにしている。補習等も実施した。
意見:アンケート結果に学年による差はない。生徒は、具体的なことを学べる科目が好きで、抽象的な科目は難しいと感じている。
 - ②遅刻が増えていることの原因は？
意見:自律が大切。うながさないと成績が伸びないのでは。
→課題を終了することができない生徒が増えている。課題の一覧を作って学年だよりに記載している。
意見:生活が夜型になっている。学校にちゃんと行くことが大切だと感じる
 - ③時間外労働80時間を超えている先生は働く中身はどうか？
→一部活動に熱心な教員は、時間外労働時間が多い傾向にある。
意見:ストレスチェックも見なければいけない。時間外労働ではあるが、その原因が部活動の指導であると、それ自体がストレスの解消になっていることもある。超過勤務を時間だけで測ってはいけない。
 - ④(ダンス部や吹奏楽部等が)小阪中学校区の祭りに参加した結果、布施高校に行きたい生徒が増えているようである。また不登校の生徒や通級の対象となる生徒が、全体的に増えている。説明会等で質問が増えているのでは？
→そういった質問はある。本校では、中学校からの引継ぎを受けるようにしている。1学年に若干名ではあるが、対象になり得る生徒がいるが希望しない生徒もいる。遠隔授業についても体制はできているが、各校によって実施基準や実施方法が違うので、個別相談が必要かと思われる。
意見:そういった(不登校や通級の対象になる)生徒には、クラスルームなどで情報交換・共有が必要である。大学生でも自分で時間割が組めない生徒がいると聞いたことがある。周りが大丈夫と思っていても、本人は大丈夫と思っていないこともある。
 - ⑤国際交流が学習のモチベーションになっているか？
→留学生を受け入れて一緒に学ぶことで、成果が上がった。特に英語学習に対して積極的になっている。
意見:コミュニケーションの深まりが文化や歴史につながることを望ましい。すべての科目が国際交流につながる。
 - ⑥災害が起こった際の対応はどうなっているか？
→防災計画があり、それに則って対応する。
意見:被災地で高校生、中学生が活躍することがある。体育会系の生徒が特に活躍している。学校によっては地域の防災訓練に入って、いざという時に対応できるように地域との関係づくりをしている学校もある。

次回の会議日程

日時	令和7年3月頃を予定
会場	本校校長室